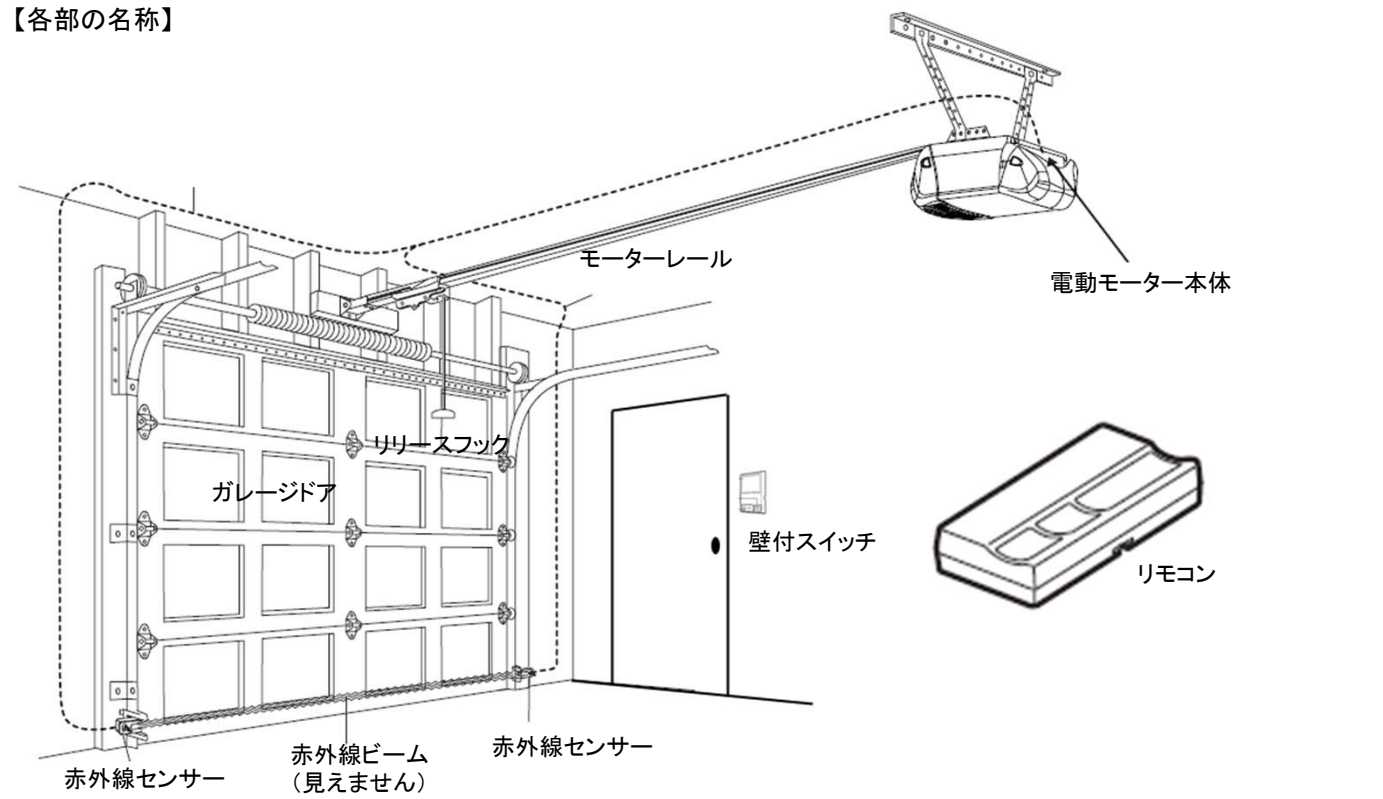


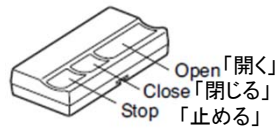
【各部の名称】



①リモコンでの「開く」、「閉じる」、「止める」の操作

お手元のリモコンで電動オーバースライダーガレージドアの操作ができます。

- ①大きなボタンで、「開く」ことができます。
- ②真ん中のボタンで、「閉める」ことができます。
- ③三つ目のボタンで、「止める」ことができます。

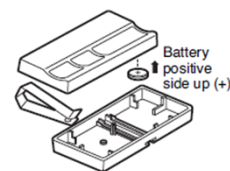


【警告】
ガレージドア開閉に伴い、重傷または死亡の可能性を防ぐために、下記のことを必ず守ってください。

- リモコンおよび壁スイッチの操作を子供には絶対に触れさせないでください。
- 障害物がないことを必ず確認した上で、ガレージドアの操作を行ってください。
- ガレージドアが確実に閉まるまで、ドアから目を離さないでください。また、絶対にガレージドアの下をくぐったりしないでください。

②電池の交換

リモコンにはリチウム電池が内蔵されており、約5年間（使用状況による）作動します。交換方法は、リモコンのツメの部分をかじり開け、図のような電池のプラスの向きで電池をセットします。古い電池は必ず適切に処分してください。



電池の向きはプラスを上に向けてください。

電池はボタン電池です。品番は、「3V CR2032」です

【警告】
重傷または死亡の可能性を防ぐために、下記のことを必ず守ってください。

- 小さな子供の手の届かないところで、電池交換作業を行ってください。
- 謝って電池を飲み込んだ場合は直ちに医師の診察を受けてください。

③壁付スイッチの操作

プッシュボタン（大きな白い四角ボタン）で開け閉めできます。押すと開き、もう一度押すと閉じます。

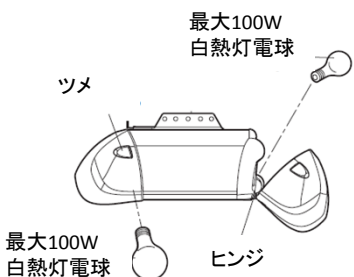


【照明操作】
ライトボタンを押すと、電動モーター本体の照明が点灯または消灯します。電動モーター作動中はライトボタンの操作はできません。照明にはタイマーがついており、約4分30秒で照明が消灯されます。

【ロック機能】
リモコン操作をできないようにしたい場合は、ロックボタンを押します。リモコンからの操作はできなくなりますが、壁付スイッチは操作できます。ロックをする場合は、ロックボタンを2秒以上押し続けます。すると、プッシュボタンのライトが点滅し、ロック状態になります。ロックを解除する場合は、ロックボタンを2秒以上押し続けます。すると、プッシュボタンのライトの点滅がとまります。

④電球の交換

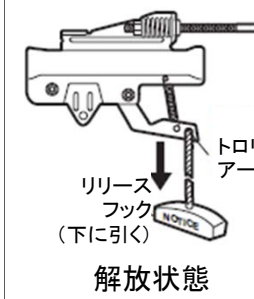
電動モーター本体の白いカバーを外し、電球を交換します。カバー側面のツメを押しながら外します。電球は60W～100Wをお好みの明るさに合わせてご使用ください。



【注意】
電球ソケットの加熱を防ぐため、下記のことを必ず守ってください。

- 首の短い電球など、特殊な電球は使わないこと。
- ハロゲン電球は使わないこと。白熱灯のみをご使用ください。

⑤手動開閉(リリースフックの操作)



ガレージドアが完全に閉じている状態で操作します。リリースフックをひっぱり、モーターレールからロックを解放します。

モーターレールに再び接合をする場合は、リリースフックを後方にひっぱり、ガレージドアを手動で動かして、接合します。「カチッ」と確実に音がすることを確認してください。

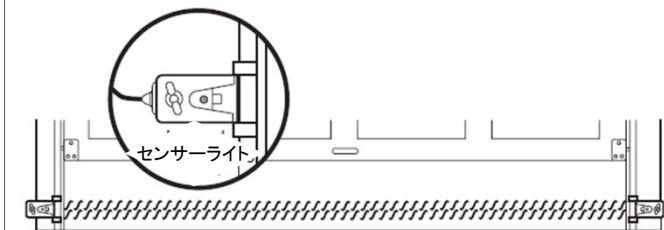


【警告】
重傷または死亡の可能性を防ぐため、ガレージドアが落下しないよう、下記のことを必ず守ってください。

- ガレージドアが閉まっているときのみ、ハンドルを解放してください。
- **手でガレージドアを開閉するときは、指を挟まないように注意してください。**
- ガレージドアの開閉操作、リリースフックの操作を子供にさせないでください。

⑥赤外線センサーについて

本ガレージドアには赤外線センサーが装備されています。電動モーターでガレージドアを閉じるとき、赤外線センサーが働き、障害物を感じると自動的に開き、照明が点滅して以上を知らせます。ガレージドアレールの両サイドに赤外線センサーが設置されており、センサーのランプがそれぞれ緑色に点灯していれば正常作動中です。センサーのランプのいずれかが消灯の場合は、障害物を感じています。ガレージドアの下に障害物がないか確認してから閉じてください。（手動の場合は赤外線センサーは動きません）



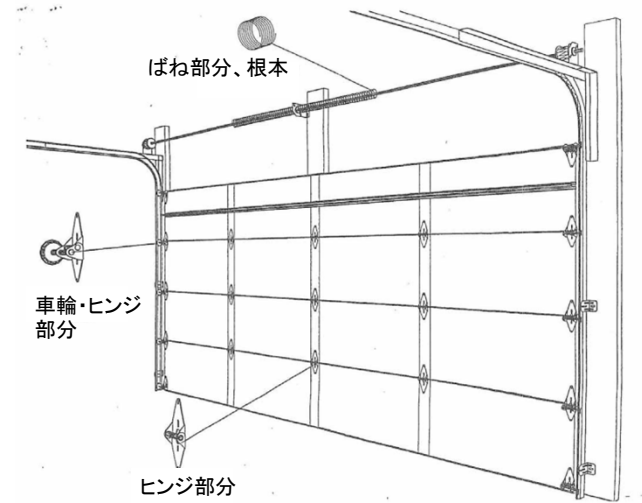
⑦ガレージドアのお手入れ

ガレージドアの素材はスチールです。また、表面の塗装は焼付塗装がされています。そのため、キズ、へこみ、すれなどにより、錆が発生する場合があります。



汚れを取る場合は、中性洗剤をまぜた水をスポンジに含ませて、軽く汚れを洗い流してください。強くこすったり、たわしやデッキブラシでこすった場合、キズの原因になります。また、高圧洗浄機などを使わないようにしてください。

⑧ガレージドア可動部の油さし



ガレージドアご使用の頻度にもよりますが、6か月から1年に一度、可動部分に油をさしてください。また、電動モーターのギア部分、およびモーターレールにはグリースをさしてください。

⑨ご使用上の注意

- ① ガレージドアの表面や、ガラスに強い衝撃を与えないでください。本体のゆがみによりガレージドアが開かなくなったり、落下する原因になります。
- ② 台風などの強風の時は、完全にガレージドアを閉めてください。
- ③ 冬場に、ガレージドア下のゴムパッキン部分が凍結し、ガレージドアが開かなくなる場合があります。お湯をかけるなど溶かし、常にガレージ下部に氷や雪がたまらないよう注意してください。
- ④ ガレージ正面の道路などに圧雪状態の雪で段差ができた場合、車両をガレージに入れる際は、車の天井がガレージの上枠にぶつかからないよう、高さを十分に確認し、注意して納車してください。
- ⑤ 赤外線センサーに衝撃を与えると、センサービームの向きが変わり、障害物がなくてもランプが消灯することがあります。センサーの蝶ねじを緩めて、お互いが向き合うように調整してください。
- ⑥ 壁付スイッチのライトボタン、プッシュボタン、ロックボタンを同時に押すと、リモコンがリセットされることがありますので、ボタンは同時に押さないでください。
- ⑦ ガレージドアを手動で開閉する場合は、指を挟まないように注意してください。
- ⑧ 電動モーターは閉まる時に障害物が挟まったとき、負荷を感知することがあります。
- ⑨ ガレージドア開閉時に、異常音、異常金属音、異臭、煙などを感じたときには、直ちに使用をとりやめ、施工店、または販売店にご連絡ください。
- ⑩ ガレージドアが開かないなどのトラブルにより、ガレージ内の車両が出せない、または動かせない場合の損害につきましては、責任を負いかねますので、ご了承ください。

ガレージドアの修理、メンテナンス、パーツについてのお問い合わせは、
株式会社ジェンテックス シンプルホーム事業部
北海道札幌市東区北47条東1丁目1-30-602 電話:011-788-9464 FAX:011-788-9497